

平成29年分 中部空港 貿易概況（速報）

輸出は2年ぶりの増加、輸入も2年ぶりの増加

1. 概要

(1) 貿易額

平成29年の輸出総額は9,213億円（前年比108.0%）、輸入総額は9,590億円（同105.7%）で、輸出は2年ぶりに増加し過去5位、輸入も2年ぶりに増加し過去3位となった。

輸出入差引額は▲377億円で、7年連続の輸入超過となった。

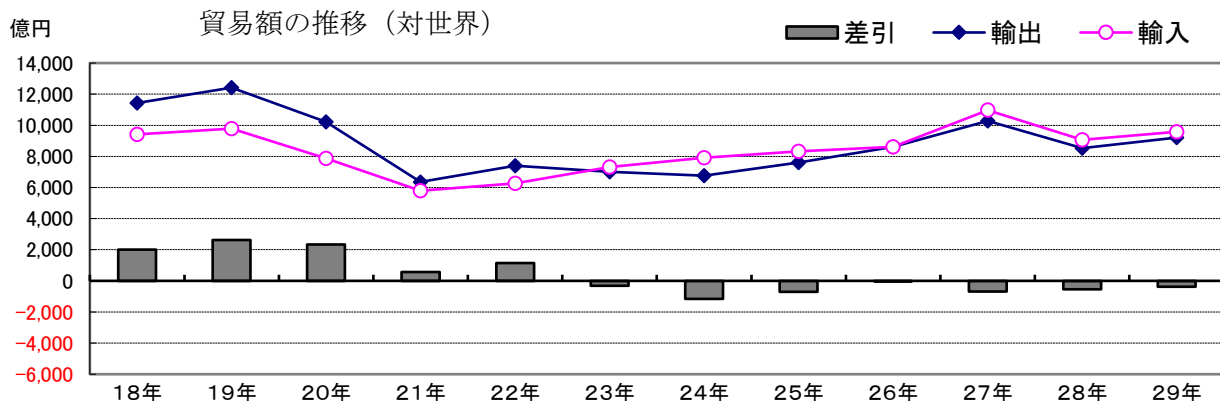
(2) 主要品目（上位3品目の構成比）

輸出は、半導体等電子部品（9.0%）、電気計測機器（8.3%）、電気回路等の機器（6.9%）であり、輸入は、医薬品（14.4%）、半導体等電子部品（9.6%）、有機化合物（9.0%）であった。

(3) 国（地域）（上位3カ国の構成比）

輸出は、アメリカ（22.3%）、中国（17.5%）、韓国（7.3%）であり、輸入は、アメリカ（23.7%）、中国（13.6%）、ドイツ（9.7%）であった。

区 分	金 額	前 年 比	推 移（対前年比）
輸 出	9,213 億円	108.0 %	2年ぶりの増加
輸 入	9,590 億円	105.7 %	2年ぶりの増加



2. 主要増減品目別動向

【輸出】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 自動車用等の電気機器	195 億円	3.5 倍	+ 1.6
	2. 科学光学機器	471 億円	119.4 %	+ 0.9
	3. 電気回路等の機器	634 億円	111.6 %	+ 0.8
減少	1. 医薬品	159 億円	75.3 %	▲ 0.6
	2. 音響・映像機器の部分品	66 億円	60.4 %	▲ 0.5

【輸入】

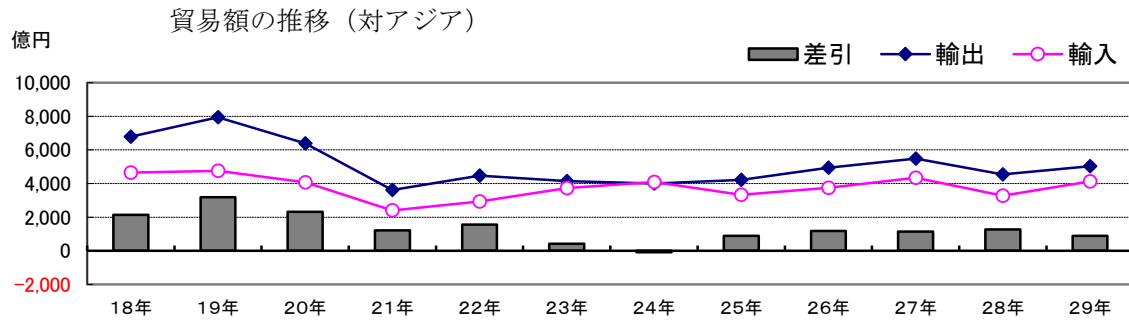
	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 有機化合物	866 億円	158.4 %	+ 3.5
	2. 原動機	707 億円	119.3 %	+ 1.3
	3. 科学光学機器	342 億円	121.1 %	+ 0.7
減少	1. 航空機類	529 億円	61.0 %	▲ 3.7
	2. 半導体等電子部品	922 億円	91.8 %	▲ 0.9

《参考》ドルレートは、112.33 円/ドル （前年比 3.1 %、3.38 円の円安）

3. 主要地域（国）別動向

(1) アジア

区 分	金 額	前 年 比	推 移（対前年比）
輸 出	5,027 億円	110.7 %	2年ぶりの増加
輸 入	4,130 億円	126.1 %	2年ぶりの増加



【輸出】

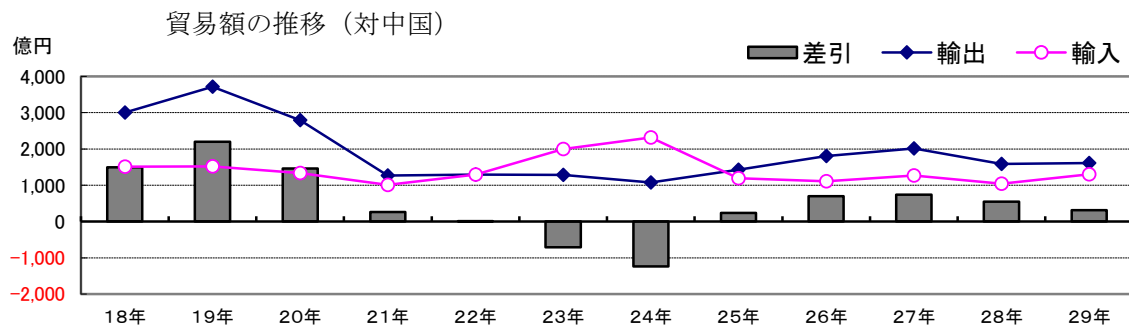
	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 自動車用等の電気機器	77 億円	2.8 倍	+ 1.1
	2. 重電機器	125 億円	149.0 %	+ 0.9
	3. 家庭用電気機器	115 億円	149.8 %	+ 0.8
減少	1. 医薬品	81 億円	56.3 %	▲ 1.4
	2. 通信機	141 億円	76.9 %	▲ 0.9

【輸入】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 有機化合物	360 億円	6.3 倍	+ 9.3
	2. 衣類及び同附属品	292 億円	123.7 %	+ 1.7
	3. 記録媒体（含記録済）	81 億円	2.4 倍	+ 1.4
減少	1. 魚介類及び同調製品	10 億円	19.0 %	▲ 1.3
	2. 航空機類	15 億円	41.4 %	▲ 0.7

(2) 中国

区 分	金 額	前 年 比	推 移（対前年比）
輸 出	1,612 億円	101.7 %	2年ぶりの増加
輸 入	1,303 億円	125.5 %	2年ぶりの増加



【輸出】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 電気回路等の機器	213 億円	136.6 %	+ 3.6
	2. 自動車の部分品	92 億円	174.9 %	+ 2.5
	3. 重電機器	83 億円	160.5 %	+ 2.0
減少	1. 通信機	25 億円	15.3 %	▲ 8.7
	2. 医薬品	54 億円	47.0 %	▲ 3.9

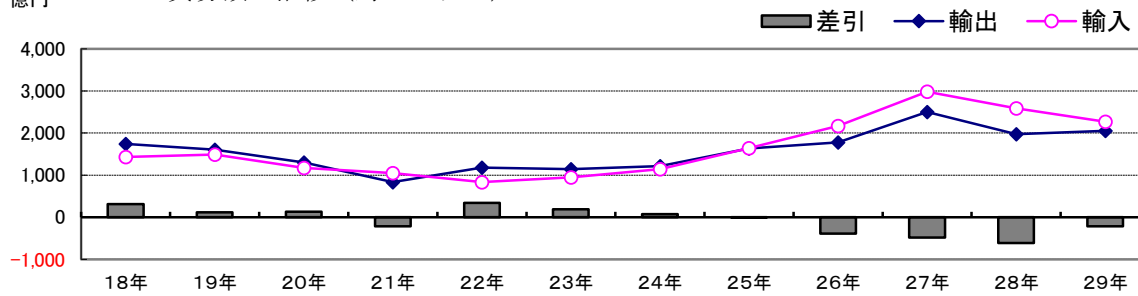
【輸入】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 衣類及び同附属品	158 億円	126.0 %	+ 3.1
	2. 科学光学機器	114 億円	123.4 %	+ 2.1
	3. 通信機	58 億円	147.1 %	+ 1.8
減少	1. 時計及び部分品	8 億円	38.3 %	▲ 1.2
	2. 事務用機器	102 億円	94.9 %	▲ 0.5

(3) アメリカ

区 分	金 額	前 年 比	推 移 (対前年比)
輸 出	2,056 億円	104.1 %	2年ぶりの増加
輸 入	2,274 億円	87.8 %	2年連続の減少

貿易額の推移 (対アメリカ)



【輸出】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 自動車の部分品	129 億円	120.2 %	+ 1.1
	2. 自動車用等の電気機器	31 億円	3.3 倍	+ 1.1
	3. 科学光学機器	55 億円	143.9 %	+ 0.9
減少	1. 航空機類	85 億円	84.6 %	▲ 0.8
	2. 金属製品	85 億円	85.3 %	▲ 0.7

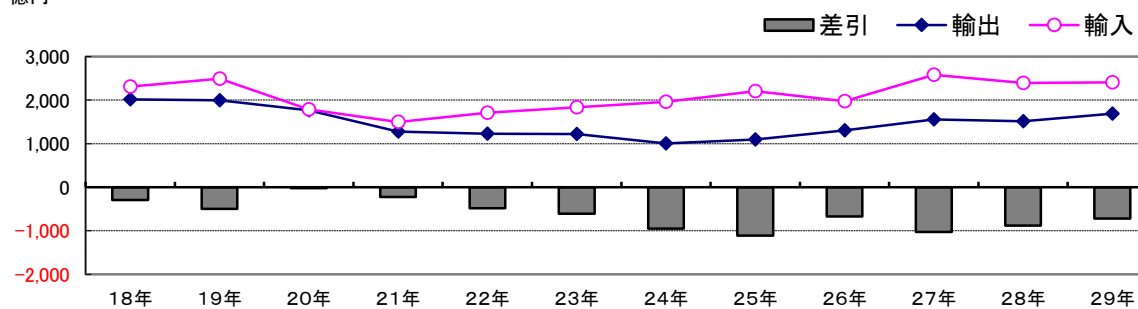
【輸入】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 原動機	538 億円	115.5 %	+ 2.8
	2. 半導体等製造装置	20 億円	3.5 倍	+ 0.6
減少	1. 航空機類	392 億円	66.0 %	▲ 7.8
	2. 半導体等電子部品	112 億円	53.2 %	▲ 3.8
	3. 電気計測機器	93 億円	79.7 %	▲ 0.9

(4) EU

区 分	金 額	前 年 比	推 移 (対前年比)
輸 出	1,690 億円	111.4 %	2年ぶりの増加
輸 入	2,410 億円	100.6 %	2年ぶりの増加

貿易額の推移 (対EU)



【輸出】

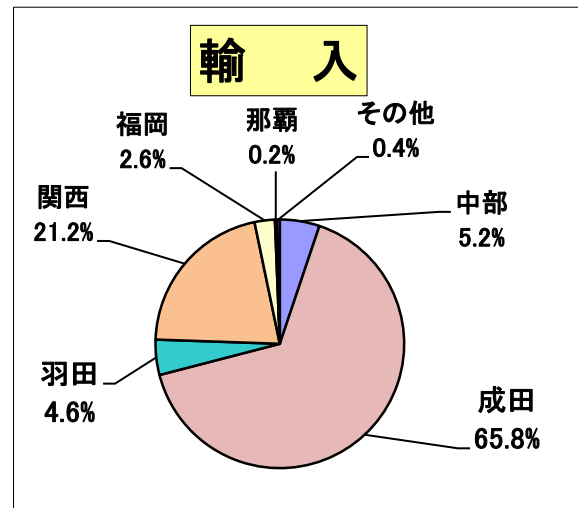
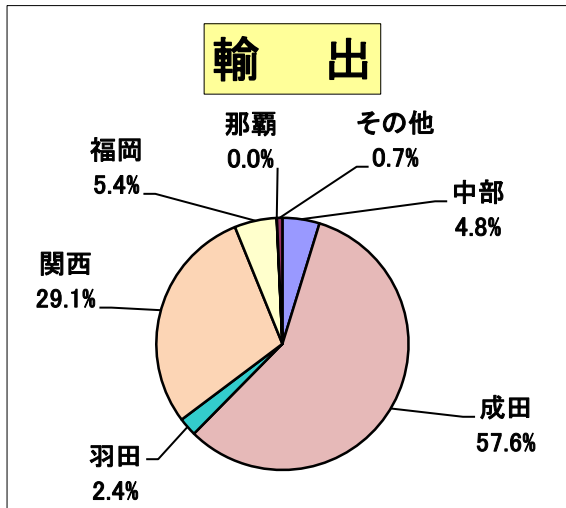
	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 自動車用等の電気機器	80 億円	5.9 倍	+ 4.4
	2. 電気計測機器	335 億円	118.2 %	+ 3.4
	3. 半導体等製造装置	26 億円	4.2 倍	+ 1.3
減少	1. 自動車の部分品	105 億円	72.3 %	▲ 2.6
	2. 原動機	146 億円	88.4 %	▲ 1.3

【輸入】

	品 目	金 額	前 年 比	寄与度
増加	1. 有機化合物	135 億円	186.1 %	+ 2.6
	2. 原動機	86 億円	151.4 %	+ 1.2
	3. 半導体等電子部品	55 億円	170.8 %	+ 1.0
減少	1. 航空機類	70 億円	35.4 %	▲ 5.3
	2. 電気計測機器	91 億円	78.3 %	▲ 1.1

4. 全国主要空港との比較

空 港	輸 出		輸 入	
	金 額	全 国 比	金 額	全 国 比
中 部	9,213 億円	4.8 %	9,590 億円	5.2 %
成 田	11兆 1,690 億円	57.6 %	12兆 2,295 億円	65.8 %
羽 田	4,588 億円	2.4 %	8,529 億円	4.6 %
関 西	5兆 6,439 億円	29.1 %	3兆 9,385 億円	21.2 %
福 岡	1兆 0,488 億円	5.4 %	4,894 億円	2.6 %
那 覇	54 億円	0.0 %	430 億円	0.2 %



参 考

★寄与度

個々の品目が輸出(入)総額の増減に対してどれだけ影響したかを示す指標です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{個々の品目の当年輸出(入)額} - \text{個々の品目の前年輸出(入)額}}{\text{前年の輸出(入)総額}} \times 100$$



この概況に関するお問い合わせは
中部空港税関支署 税関広報広聴官
または 通関総括第1部門にお願いします。

TEL 0569-38-7607(税関広報広聴官)
TEL 0569-38-7639(通関総括第1部門)